

# ケーエム精工株式会社

大阪府東大阪市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

## 新製品開発と不良率ゼロへの挑戦を続け 「日本のものづくり」にこだわる

- 積極的な技術開発により、他社が真似できない超精密・高品質製品を製造
- 需要予測や人材育成に係るシステムを構築し業務の効率化を図る
- 高性能、品質の安定性、納期厳守等が評価され海外向け販売を拡大

### 企業基本情報

所在地	大阪府東大阪市吉田本町 1-10-16
電話/FAX	072-966-4466/072-966-6677
URL	http://www.kmseiko.co.jp
代表者	代表取締役社長 北井 啓之
設立	1972年
資本金	4,500万円
従業員数	100人



### 会社概要

三重工場（伊賀市）では、自動車関連部品に使用されるナット及びねじ部品を製造しており、複雑な形状やステンレスをはじめとする高合金鋼、チタンなどの非鉄金属でも、横型鍛造機とねじ切り加工機、昇温機を用いて量産が可能で、国内外の自動車部品メーカーに供給している。また、加納工場（東大阪市）では、国内外の住宅メーカー向けに鋼・ステンレス製ドリリングタッピンねじ、ドリルねじを供給している。



会社外観

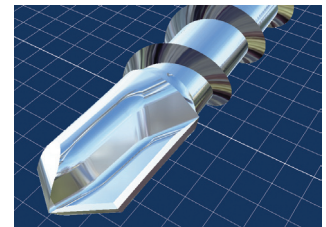
### 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

#### 積極的な技術開発を図ることで、他社が真似できない高品質製品を製造

温間鍛造技術を活用し加工が困難なステンレスやチタンを、ミクロン単位の高精度で、かつ複雑な形状にも加工を可能とし、他社が真似できない高品質製品を製造。

技術開発（厚板にも軽い力が入るドリルねじ刃先形状の開発、超耐食表面処理など）による新製品開発を積極的に行い、付加価値向上を図っている。

部品設計段階から顧客ニーズをとらえた製品開発を行い、納期や品質の安定性を徹底することで、付加価値を高めている。

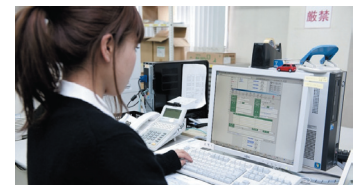


ドリルねじ刃先の開発温間鍛造

#### 需要予測や人材育成に係るシステムの構築をして効率化を図る

全ての販売製品（汎用品に限らず特注品も含む）に対して、需要予測システムを構築し、毎年の受注トレンド及び直近の受注状況を分析することで、生産管理・在庫管理の効率化を図り、生産性の向上、納期遅れの防止に努めている。

人材育成についても積極的に行っており、熟練社員の指導の下、設定レベルに達するまで繰り返しOJTを行う「技能マップ」システムを活用することで、社内の技術伝承に努め、業務効率化を図っている。

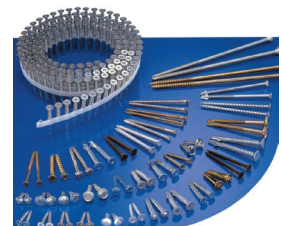


需要予測システム

#### 品質の安定性、納期厳守が評価され、海外向け販売を拡大

アメリカ及びカナダ向けに、約30年前から販売実績を有している。設計段階からの企画提案を重ねることで、顧客のニーズ・仕様に合わせた製品を供給。特に、ドリルねじ、ドリリングタッピンねじ（建築業界向け）が主力製品で、製品の精度だけでなく、他の海外製品に比べて、品質の安定性や納期面等でも高い評価を得ている。

海外向け販売だけでなく、海外からのねじ、ねじ関連商品の調達も積極的に行い、海外展開に係る社内体制を整備している。



ドリルねじ、ドリリングタッピンねじ